

5-4. 屋根防水仕上げ

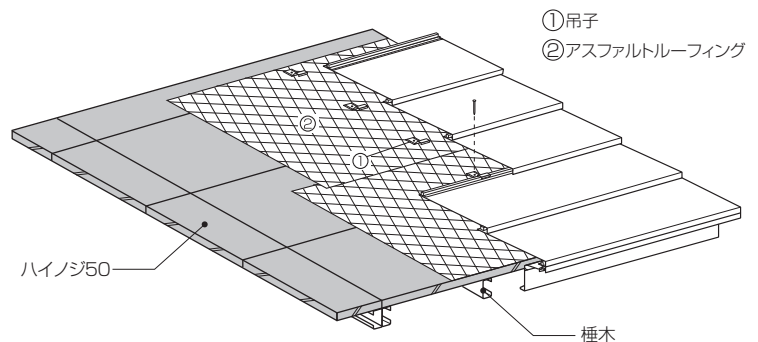
ハイノジ50は、全面にわたり完全な防水工事が必要です。屋根防水については、日本建築学会より「JASS8 防水工事」が発行されておりますので、メンブレン防水工事の節をご参照ください。

非歩行用屋根では、ハイノジ50の軽量性を生かし防水層の変形追従性を確保する点から、露出防水が適しています。防水工法の種類と選定の目安をあげると下表の通りですが、ハイノジ50に適した工法は、「アスファルト防水(絶縁工法)」「シート防水」「葺屋根工法」などです。「モルタル防水」「塗膜防水」は不適当です。採用にあたっては防水メーカーの仕様にしたがってください。

⚠ 屋根防水仕上げでの注意点

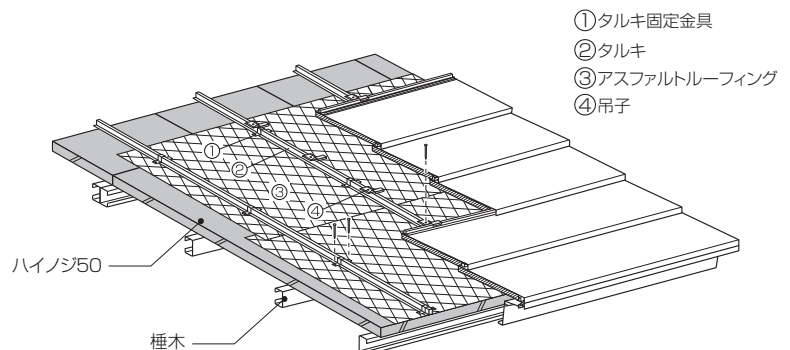
金属横葺屋根(直葺工法)

- 吊子をタッピングビスでハイノジ50を貫通して椀木に固定します。



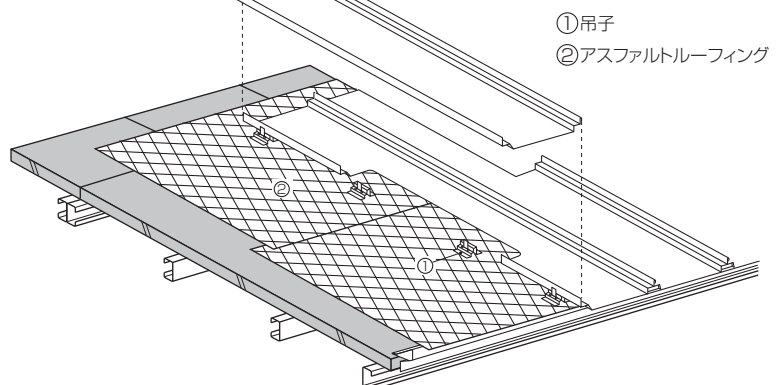
金属横葺屋根(通気工法)

- 屋根材とパネルの間に中空気層を儲ける工法です。
- ハイノジ50の上面に屋根材の下地となる補助タルキを設けてハイノジ50を貫通して椀木にタッピングビスで固定します。



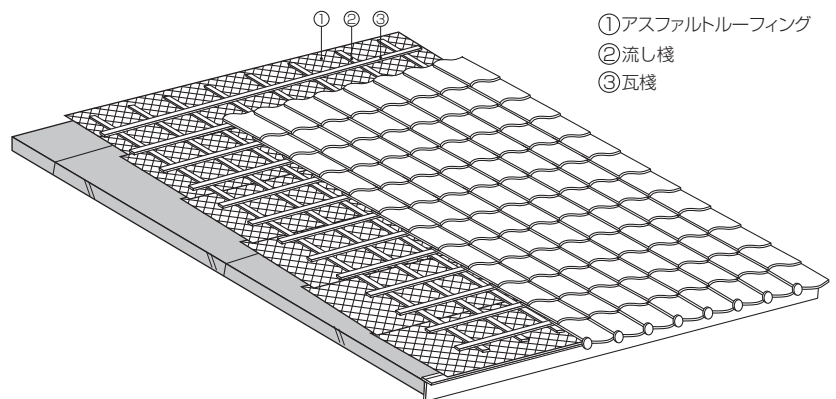
金属縦葺屋根

- 部分吊子あるいは通し吊子をタッピングビスでハイノジ50を貫通して椀木に固定します。



粘土瓦

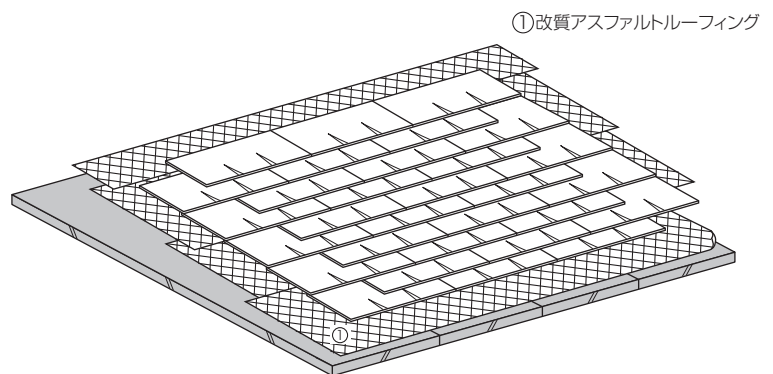
- ルーフィングは改質アスファルト系を使用してください。
- 雨水のパネルへの侵入を防止するため、瓦棧に水抜き加工を施すか、流し棧を使用してください。
- 瓦棧、流し棧はALC専用アンカーを使用してください。



- ①アスファルトルーフィング
- ②流し棧
- ③瓦棧

スレート瓦(天然スレートを含む)

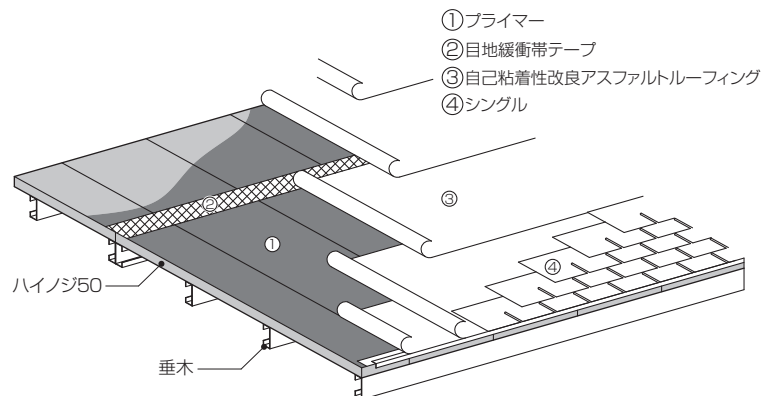
- ルーフィングは改質アスファルト系を使用してください。
- スレート瓦の取り付けは屋根メーカー指定のALC専用アンカーを使用してください。
- スレート瓦は、正規のアンカー穴の他、予備穴が付いているものを選んでください。



- ①改質アスファルトルーフィング

アスファルトシングル

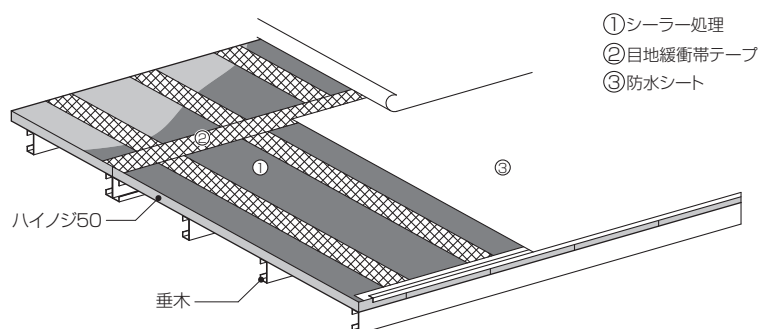
- 強カルーフィングを用いた接着工法としてください。
- 1/10未満緩勾配は葺材の重ね張り部分より雨水侵入のおそれがありますので、避けてください。
- 22条指定地域、屋根耐火構造等、屋根葺材を不燃材とする必要がある場合は不燃シングルを用いてください。



- ①プライマー
- ②目地緩衝テープ
- ③自己粘着性改良アスファルトルーフィング
- ④シングル

シート

- 単一層による防水工法ですから、シート厚、品質など信頼のおけるメーカーのものを選び、重ね代の接着など施工にも十分注意してください。
- ハイノジ50の長短辺目地部には緩衝テープでの目地処理が必要です。
- パラペットやペントハウスの立上がり部などは防水層を増張りして、ゼロスパンテンションを防止します。



- ①シーラー処理
- ②目地緩衝テープ
- ③防水シート